

連盟だより

# ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 18

平成26年7月



有田焼

写真提供：佐賀県観光連盟フォトランド



陶山神社  
(有田町)



トンバイ塀  
(有田町)

【トンバイ塀】  
トンバイとは窯を築くときに使う耐火レンガのことで、使わなくなった窯をこわしたときにいらなくなった古いトンバイがたくさんあります。捨てるのがもったいないのでこのトンバイを使って塀を作り、いわばリサイクルの塀です。  
江戸時代、商人が町すじに店を構えていたのに対し、窯焼は本通りからはずれた人通りの少ない場所に住み、屋敷と仕事をトンバイ塀で囲み製陶技術の秘密を守ろうとしたようです。(有田人より)

【陶山神社】  
陶祖 孝参平が祀られている神社です。建立は1658年頃といわれています。神社には他では見ることができない、すべて磁器製の大鳥居や狛犬、大水瓶、欄干など、やきもの町ならではの風情に触れることができます。(有田観光協会より)

Unité(ユニテ)…… 「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集め的な結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念





## 看護連盟通常総会を終えて

佐賀県看護連盟会長 岡部 洋子

若葉かおる季節を迎えましたが会員の皆様お元気でしょうか。

昨年は皆様のお力添えて「看護界初の男性看護師、石田まさひろさん」を国政に送ることが出来ました。男性議員の誕生です！これは会員皆様のご協力のおかげと役員一同大変喜んでおります。しかし、まだまだ看護職の多くの方々への周知が足りなかった事や関心の薄さを思い知らされた選挙戦でもありました。

最近是我々の業務に直結する問題で「医療法の一部改正や特定行為に係る看護師の研修制度・新たな財政支援制度（基金）」の議論がなされ、看護師議員（あべ俊子、たかがい恵美子、石田まさひろ）の3名の力強い頑張りでも議論が進められており、看護連盟議員の先生方の応援も頂きました。

**「看護は政治と深い繋がりがあります。政治に関心を持ちましょう」**

今年、看護連盟通常総会（本部・佐賀県）を終えて思いを強くした事があります。

今の現代社会は自然災害や事故・社会の多様な変化に向き合って生きています、この社会情勢が刻々と変わる中で社会の一員として考え、必要な事は誰からの指示を受けなくても自分の判断で行動できる事が「人間の基本」と思われます。

先輩方の努力で勝ち得た政策・制度をもっと大きく・幅広く展開させなければ看護環境の改善は期待できません、逆に後退の危機すら感じられます。

これからはチーム医療のキーパーソンとなれるように「看護職は賢く遅しく、看護の意思をしっかりと持って前進しましょう！」

私たち看護職のため・国民が豊かに暮らせる社会づくりのために頑張りましょう。



## 個人と組織の力の強化

日本看護連盟会長 草間 朋子

「看護師は、チーム医療のキーパーソン」といわれるようになってから2年が経ちます。

一人ひとりの看護職、そして、組織としての連盟は、名実共に、看護師がチーム医療のキーパーソンであることを医療界および社会に示して行かなければなりません。

患者さん達に寄り添い、患者さんの状態を四六時中、見守り続けている一人ひとりの看護師は、アセスメント能力を磨き、療養上の世話および診療の補助行為を通して、患者さん達の症状をマネジメントし、さらに、その結果を医師、薬剤師、管理栄養士などに提供し、医療スタッフ間で患者さんの情報を共有できる状況をつくっていくことがキーパーソンとしての役割です。

キーパーソンとしての看護師の質向上のための教育・研修環境や働く環境を整備する活動は、政治を動かす組織の役割です。

また、医療従事者間および患者さんとの信頼関係の構築が不可欠です。看護師一人ひとりの努力はもちろんですが、組織としての活動も不可欠です。チーム医療の中での看護師の役割をしっかりと社会に発信し、私達の活動をもっと社会にアピールしていかなければと思います。

ベッドサイドで抱える看護のさまざまな課題は、組織の力なくして解決できません。患者さん達のQOL向上に向けて看護連盟の力を強化していきましょう。





## ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

佐賀県看護連盟の皆様、いつも温かいお力添えを賜り心より感謝申し上げます。現在、第186回通常国会が開会しています。議院運営委員会や自民党国会対策委員会の活動も活発になり、法案の説明や整理、与野党間の話し合いに取り組むなど国会運営に携わりつつ、週末は地元へ帰りできる限り皆さんとの触れ合いを大切にしています。

今国会では、必要な法案を通し、また復興を推し進めていくとともに、次々年度に向けての予算獲得のための政策づくりもしていきます。それらの予算には、10年、20年、それに続く100年後の日本のことをも考えた思いを込めながら、次世代に送り継ぐ政策をつくりあげていきます。同時に、看護職の皆様お一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、皆様のお声をお聞かせいただきながら、その実現に向けても引き続き精一杯取り組んでまいります。政治は国民のものであり、政治は皆でつくりあげていくものです。佐賀県看護連盟の皆様のご温かく心強いお力添えを心よりお願い申し上げます。



## ごあいさつ

参議院議員 たかがい 恵美子

佐賀県の看護職の皆様、日頃のご活躍に心より敬意を表しますとともに、かわらぬご支援に感謝申し上げます。

第二次安倍政権の誕生よりこの方、政策の重点は財政再建と経済活性化、そして新たな成長戦略の発信へ注がれて参りました。いわば我が国が将来、真に健やかな成熟社会へ飛躍していくための基盤整備が行われたわけです。これからは、国民のいのちと暮らしの安全・安心を安定的に保証するための社会保障制度体系全般にかかる諸々の大改革を進める段階に入ります。

社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、いよいよ看護職が現場の声を政策へ届ける時がやって参りました。私こと、高階恵美子も看護職の一人として、これまで着々と進めてきた地道な努力の積み重ねを、今度は国会の場で政策としてひとつでも多く目に見える形で実現させていくべく、微力を投じて参ります。



## ごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

佐賀県看護連盟の皆様、平素はお力添えを賜りありがとうございます。今国会も終盤となり、多くの法案が審議されています。私たちの身近なところで、医療制度改革のプログラム法である社会保障制度改革推進法に基づき、保助看法、医療法、介護保険法など多くの法律が改正されます。将来の日本をしっかりと見据え、同法案が真に長期安定的な制度となるよう力を尽くしてゆきます。

また、党内ではピッチを上げて今国会への提出予定の法案が議論されているのと並行して、次期国会に向けて、新たな部会やプロジェクトチームが立ち上がり、勉強会やヒアリングなどが行われています。

社会が大きく変わりつつある今、医療・看護の現場はその変化をダイレクトに感じる場のひとつです。皆様「今日もいい看護ができた!」と実感し、輝きをもって看護を行うことができるよう、国政の場で頑張ってください。



## 楽しみもホップ・ステップ・みんなでジャンプ

佐賀県看護協会会長 三根 哲子

平成25年度末現在の佐賀県看護協会会員は、5,600名を超え、平成24年度との比較では、約200名の増でした。近年、毎年200人前後増加し、過去最高となりました。とはいえ、入会率はやっと38%で、全国平均以下という現実です。

会員の増加を促進するための方法の一つとして、福利厚生充実を考えました。

平成26年度からの新規事業として、①大分県のハーモニーランド（ハローキティやシナモンというキャラクターをテーマとした若者向けの娯楽施設・ホームページで検索するとディズニールランドのキティ版だ！）と契約しました。佐賀県看護協会会員は、期間限定ではありますが、会員証提示と利用券提出で入場無料となります。②又、私を含む中高年向きに、嬉野温泉旅館の和楽園及び初音荘新館では会員証提示で利用料金10%割引などの特典を開拓いたしました。

看護協会会員が1名いれば、全員に特典を適用するものです。家族サービス・クラス会・親孝行等で、ぜひ一度ご利用いただき感想をいただければ幸いです。（詳細は後日の看護協会会報をご参照ください）

さて、わが国では人口の高齢化が大きな課題で、特に在宅療養者が増大する中、看護の質の向上と数の確保が重要です。3年～5年という時間と多額の税金を投入して養成した看護職が、やりがいを持って働けるための職場環境づくりを推進することが急がれます。佐賀県看護協会は、昨年度から看護職が働けることができる職場環境づくりのワークショップに取り組んでいます。自分の職場の現状を（管理者のみでなく）看護職一人ひとりが客観的にしっかり見つめ、同僚と話し合い、自施設版の改善策を立て、皆で実行するものです。平成25年度は2施設が取り組み、一歩先行していますが、平成26年度はさらに2施設が新たに取り組むをはじめます。佐賀県看護協会は、この波が大きくなうねりとなるよう、知恵と力を振り絞っているところです。

また、求められる看護職は、若い人たちがばかりではありません。定年退職後も、社会貢献の機会はドッサーです。お互い、元気に頑張りましょう。



## 医療功労賞全国表彰受賞おめでとうございます！

### 医療功労賞全国表彰を受賞して

唐津済生会病院看護部顧問 前田 真理子

この度、佐賀県看護協会の推薦のもと、第42回医療功労賞全国表彰を受けることができました。全国表彰は、医師13名、助産師1名、看護師3名の17名でした。3月14日東京帝国ホテルで表彰式が催され、赤石清美厚生労働大臣政務官より表彰状をいただきました。



その後、天皇皇后両陛下拝謁のため専用バスで皇居に向かいました。宮殿内の閣外で記念撮影後、テレビで見る一般参賀の廊下を主人と共に歩き、二度と経験できないことと感激しながら、「松風の間」での拝謁となり、天皇陛下からねぎらいの言葉がありました。また、思いがけなく皇后様からお声をかけていただき、「どちらから？」「訪問看護ステーションの開設は？」「住民のためにこれからもよろしく」等の優しく温かいお声に、涙が流れるほど感激いたしました。その後、係の方の案内で皇居内を散策し、宮殿を飾る盆栽や花木を自然のままに育てられている場所や香淳皇后から美智子様へ引き継がれた御養蚕所など、両陛下をより身近に感じることができるといったコースを案内していただきました。



今、過ぎた日々を思い起こしてみますと、昭和56年に医療の世界に入り、看護職として32年という永い年月を「良質な医療・福祉の提供」に心がけ、地域の皆様と共にひたすら歩き続けたように思います。病院長をはじめ、看護協会長、諸先輩諸氏、同僚各位、のご指導、ご鞭撻のお蔭で、今日まで大過なく勤めさせていただきました。このような光栄にあずかり身の引き締まる思いでございます。ありがとうございました。これまで支えて下さった皆様に感謝いたします。



# 日本看護連盟創立 55 周年記念表彰者



## 特別表彰者

江 口 ミチ子

## 会員表彰者

無津呂 さ よ

福 田 重 子

# 佐賀県看護連盟会長表彰者



古田 ヒサ

伊藤 美智子

吉丸 弘子

山下 智恵美

江口 久美子

古川 津代子

鶴 八千代

村岡 万里子

西川 幸子

力武 キヨミ

前田 貴美子

北島 裕子

川崎 圭子

津山 聡子

(敬称略)

# 県 役 員 交 代

## 旧 役 員

副 会 長	無津呂 さ よ
1 支 部 長	陣 内 登貴子
2 支 部 長	藤 山 美 子
3 支 部 長	福 田 重 子
幹 事	古 田 ヒ サ
監 事	江 口 ミチ子
監 事	中 西 和 子

(敬称略)



## 新 役 員

副 会 長	副 田 峰 子
1 支 部 長	鉄 穴 佳 子
2 支 部 長	江 副 千鶴子
3 支 部 長	岡 部 恵 子
幹 事	中 西 和 子
監 事	宮 崎 眞里子
監 事	深 町 美都里

(敬称略)

## 旧役員あいさつ



### 副会長退任のご挨拶

前佐賀県看護連盟副会長 無津呂 さよ

監事を含め3期9年、佐賀県看護連盟県役員を務めさせていただきました。その間3回の参議院選挙を応援し、2勝1敗、苦しいことも楽しいこともいい思い出となりました。

選挙は勝たなきゃダメ！そんな思いを強く持った1回目の経験から、あと2回の選挙は必死豆炭で頑張りました。

会長はじめ県役員、支部役員、会員の皆様のご協力ご支援に感謝申し上げます。

今後とも佐賀県看護連盟のさらなる発展を祈念いたします。

※1・2・3支部長は次頁活動報告に含め記載。

## 新役員あいさつ



### 少しでも看護職のお役にたてれば

新佐賀県看護連盟副会長 副田 峰子

無津呂副会長の後任をお引き受けしました。私は第一線を退いた今、看護職で良かったと心の底から思っています。これからも看護職が社会的に高い評価を得てなおかつ働きやすい環境づくりを目指すために、岡部会長を補佐し、副会長の役割を全うしたいと思っています。「元気」「勇氣」「笑顔」で、立ち寄りやすい連盟をめざします。

### ご挨拶

1支部支部長 鉄穴 佳子



皆様こんにちは この度看護連盟1支部の支部長を拝命いたしました神埼病院の鉄穴佳子と申します。高階恵美子参議院議員の選挙の時から参加させていただいております。

在勤中ということで陣内登貴子前支部長に頼りっぱなしで時間が過ぎてきた次第です。今回、この大役を仰せつかり不安と緊張で毎日が過ぎております。会長始め前支部長そして諸先輩方のご指導を仰ぎながら私なりに精一杯努力させて頂こうと思っております。

皆様の病院、施設を訪問させていただき連盟とのパイプ役になりたいと考えております。多くの方々との触れ合いを持てることを楽しみにしております。ご指導よろしく願いいたします。

### ご挨拶

2支部支部長 江 副 千鶴子



平成26年度より支部長という大役を務めることとなりました。

昨年の参議院選挙では看護連盟の会員としての活動を通して、国政に私たちの代表を送り、現場の声を届けることの重要性を強く感じました。

“質の高い、いい看護をしたい！”生き生きと働き続けられる職場環境になってほしい！の思いを届けるため、現場の意見を集約し、国政に代表者を送り、問題解決に取り組んでいただけますように任期の間、佐賀県看護連盟会長はじめ本部役員の皆さま、支部役員の皆さま、会員の皆さまのご支援・ご協力のもとに笑顔で和を大切にし、思いやりを持って、微力を尽くしてまいりたいと存じます。皆さまよろしく願いいたします。

### ご挨拶

3支部支部長 岡部 恵子



庭の紫陽花が紫の花をつけ、蛙がゲロ、ゲロ鳴く声が聞かれるようになりました。梅雨がそこまで来ているように思われます。皆様お元気でお過ごしのことと思います。私は、今年3月に退職し現場を離れ個人会員となりました。

これから、今までお世話になった「看護」に何らかの恩返しをしたいと思ひ支部長という大役を引き受けることにしました。今まで現場にいた強みを活かし頑張ってみようと思ひます。1人でも多くの看護職の方に連盟の活動を御理解いただき協賛していただくよう頑張りたいと思ひます。諸先輩方のご指導を受けながら努力していきたいと思ひますのでよろしく願いいたします。



# 支部活動報告

## 1 支部活動報告

1 支部長 陣内 登貴子



早いもので昨年の参議院選挙からはや一年近くの月日が経とうとしています。ウィークリーアンフィニやメルマガでの石田議員の活躍ぶりも、私たち看護職の代表として頼もしいものを感じます。

昨年秋から年明けの年度末には、新会員獲得に向けて岡部会長と共に主に未加入施設を訪問しました。1回の訪問ですぐに連盟活動にご理解いただき新規会員になっていたところもあれば、話は聞いてくれるものの結果的に会員に結び付かない施設も多くありました。1支部では年々会員数が減少していますが、今年度の目標としては県の看護協会会員数の28%、1,574名に対し+21名が割り当てられました。

また、私事ですが6月をもって3期9年の任期満了で支部長職を辞することになりました。その間3回の参議院選挙を応援してきましたが、何にも増して会長はじめ県役員の皆様、苦楽を共にした支部役員、またいつも快くご協力をいただいた会員の皆様方に深く感謝申し上げます。これからも側面から連盟活動に協力していく所存ですが、新支部長のもと皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

## 2 支部活動報告 ～支部長みなさまに支えられ～

2 支部長 藤山 美子



初めての男性国会議員「石田まさひろ氏」が誕生し、1年がたとうとしています。少しゆったりとしながら、選挙協力の挨拶回りをし施設代表の方と喜び、今後の期待感を共有してまいりました。また11月30日(土)には、田口善弘先生による「人間関係とストレス予防」と題し4支部と合同の研修をいたしました。先生みずからが激務の中、ストレス被害に苦しむ中で体験したストレスケアについてのお話と実践でした。「…人生が1枚の絵だとしたら、…誇りを持って毎日を大切に生きてキャンパスに自分だけの絵を書いていきましょう」というメッセージを頂きました。「たかがい」参議院議員のポスターが、貼りだされているところもあるかと思えます。連盟活動は看護職全員がその時々目標に向かって、途切れる事なく続けていく事と思えます。最後になりましたが、平成17年から支部長としてリフォーム連盟の活動に携わり、本当にたくさんの出会いと体験をさせていただきました。江口前会長、岡部会長はじめ県役員。支部役員の方、会員のみまさんにご指導受け支えていただきました。厚く御礼と感謝申し上げます。

厚く御礼と感謝申し上げます。

## 3 支部活動報告

3 支部長 福田 重子



昨年は第23回参議院議員選挙で、私たち看護職の代表石田まさひろ氏、みごと当選！歓びの声が全国に湧きあがりました。22回参議院選挙では高階恵美子氏を国会に送り、二人の代表が現在活躍されています。

昨年1月に石田まさひろ氏が3支部の伊万里有田共立病院と某施設訪問をして頂きました。選挙の目録6月29日唐津支部との合同研修会では「後悔しない在宅ケアをめざして」のテーマで講演会を行い126名の参加がありました。

また3支部では、伊万里市の県議会議員及び市議会議員の方4名の協力を得ることが出来有難く思っております。

後援会名簿の収集や施設訪問を繰り返し行い頑張りました。22回選挙時の得票数を上回ることができなかったのですが無事当選となり喜びに浸りました。

今年2月8日には連盟会長による「連盟の基礎研修」と「エメラルドグリーン」によるミニコンサートで心を癒しました。

25年度の活動を終え、私9年間の連盟3支部長として微力ながら務めさせて頂きました。その間幹事長さん、幹事さんのご協力や各施設の皆様方のお力添えで役割を果たすことが出来ました。本当にありがとうございました。

今後も1会員として看護職を応援していきたいと思えます。そして看護職の更なる発展を切に願っております。

## 4支部活動報告

4支部長 小澤 知江子



そろそろ梅雨の季節が訪れようとしています。雨の中に咲いている紫陽花は好きですが、じめじめした日々はきついですね。毎日のお仕事ご苦労さまです。昨年度は選挙活動とともに看護連盟にご協力をいただきありがとうございました。平成26年度は、4月19日に第一回支部役員会を行いました。平成25年度の決算報告と事業報告等を行い、平成26年度の事業計画では、年2回の研修会と4回の役員会を計画しました。研修会はできるだけお役にたち、そしてリラクゼーション出来るものをと考えていますので、是非ご参加ください。又、1月よりご挨拶と看護連盟入会依頼を主な目的として施設訪問を行っています。現在までに30施設程訪問しご入会いただいております。訪問させていただきましてありがとうございました。今年度も微力ですが、現場で頑張っている看護師のみなさんのお声を参考にしながら活動していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

## 5支部活動報告

5支部長 古川 津代子



全国の看護連盟で講演会をして頂く石田参議院議員や高階参議院議員をフェイスブックなどで拝見すると、頑張ってよかったなど、つくづく思います。会員の皆様、日頃のお仕事お疲れ様です。私ごとですが、娘が切迫早産で緊急入院して看護師の皆様は大変お世話になり、孫が無事誕生いたしました。私たちの職業は命を守る重要な仕事です。国会議員さんに看護職の代表がいらっしゃることは素晴らしいことです。5支部は7月に研修会を開催します。支部幹事さんと施設訪問を予定していますのでよろしくお願いいたします。

## 唐津支部活動報告

唐津支部長 前田 眞理子



唐津支部では5名（写真 県知事表彰の益田幹事を中央に）の役員で活動しています。

平成25年度は役員会3回と研修会2回/年を開催致しました。研修参加者総数188名でした。また、若手ポリナビ会員への働きかけや活動は、幹事長を中心に若手会員が活躍しています。昨年12月から施設訪問を開始し会長同行で市内5か所の施設を訪問しました。「顔の見える関係づくり」を目的に、施設代表者への挨拶と連盟への要望等を何うようになっています。



今年になり「いよいよ高齢化率25.1%、4人に一人が65歳以上になった」ことが報道されました。診療報酬改定でも病院から在宅医療の充実を目指す取り組みが打ち出されています。**皆さんの働く現場も今まで通りではなく、変化に対応できる取り組みが必要です。**

私たちの生活と医療政策は切り離せません。市民・看護職の一人として、一緒に考えてみませんか、新会員募集中です。

## OB支部活動報告に代えて

OB支部長 東内 順子



平成25年度は参議院議員選挙の年、見事に私たちの代表を国政の場に送り出しました。医療の現場福祉の現場で私たち看護職を必要とされる場所は様々に広がっています。

その中で安心安全に健康で働ける職場環境をととのえるために声をあげていきましょう。第一線を退いた後も医療職として看護の後輩たちのため、私たちOBも出来ることを頑張りたいと思います。選挙の時こそ力を発揮する先輩たちです。共に頑張りましょう。



# 研修会報告

## 唐津支部研修会に参加して

河畔病院 看護師 中村恵利子



平成26年2月8日(土)唐津市虹の松原ホテルにて、唐津支部研修会が開催されました。今回の研修には、看護職以外の放射線技師、薬剤師や一般参加者など63名の参加がありました。

まず初めに前田支部長の開会の挨拶があり、倉守佐賀県看護連盟幹事長の「第23回参議院議員選挙報告」として、石田まさひろ参議院議員の当選報告とお礼に続き連盟の必要性について説明がありました。政治力が無ければ現場は変わらないと言われ、これまでの国政での成果や、看護職に関わる歴代の代表者の紹介をされました。石田議員の今後の活動は、現場で働く私達の強い味方となるものと実感しました。私達出来る事は、

これからの看護の質を高めるための制度作りに期待するだけでなく、連盟会員として多くの看護職やその周りの方へ活動の理解がなされるよう啓蒙活動に取り組んでいかなければと思いました。

次にポリナビ若手会員の山口・塚邊さんから、「教育について」の演題で、まずは「ポリナビとは？」から話され、教育全般のお話があり、会員以外の方へもわかりやすく伝わったのではないのでしょうか。

特別講演では、「身体が動けば心が動く、心が動けば人生豊かになる」～自分を好きになるヨガ～と題して、アクティブスペース智代表上妻智子先生のヨガ・ピラティスが行われました。初心者向けの簡単ポーズ、姿勢や呼吸法等行いましたが、最初は体が硬く参加者のほとんどのの方がふらふらしたり、痛がったりして「大丈夫!？」という感じでしたが、徐々に体も心も慣れてきてリフレッシュできました。

窓から見える海、アロマの香り、先生の声に癒されたいい時間を過ごすことが出来ました。あっという間に時間が過ぎ、「また参加したい」と言う声も聞かれました。

今回の研修は、とても有意義なものとなりました。参加者の皆さんも自宅や仕事の休憩時間に簡単なヨガポーズが出来ればいいですね。

## 佐賀県看護協会・看護連盟合同研修会に参加して

三樹病院 高尾 千文



平成26年2月23日(日)、看護センターに参議院議員 石田昌宏氏をお迎えし、「診療報酬に向けた取組み」と題して講演がありました。

講演はいつも分かり易く、活動の裏話なども聞く事ができてとても楽しいです。

今年度の改訂は、医療提供体制の再構築に向けて、入院・外来を含めた医療機関の機能分化と連携、在宅医療の充実に取り組む概要でした。中でも高度急性期と一般急性期を担う病床の機能分化を図る内容がより強く打ち出されています。特定除外制度の見直し、短期滞在手術、看護必要度の見直し、自宅等への復帰導入や地域包括ケア病棟の新設等です。在宅医療についても、訪問看護や訪問診療の充実はますます重要になってきます。地域のニーズを捉え、自分たちの病院は地域の中でどういう役割なのかを考え、

自施設の強みを活かしながら質の高い看護を提供できる体制を考えていかなければならないと思いました。保助看法の改正については、特定行為の明確化や研修システムの整備、看護師免許の届出制などを目指しているとの事でした。

厚労省の施策や診療報酬改定内容を良く見て対策をたてる事は勿論ではありますが、講演の中で「私たちは診療報酬を取るために看護をするのではない。患者さんに良いケアを提供するために、患者さんから選ばれるために看護をする。その為には看護の質を上げていく。この根本を忘れてはいけない。」という言葉にとっても共感しました。



### 平成26年度日本看護連盟通常総会報告

代議員・唐津支部長 前田真理子

平成26年6月3日、代議員928名・役員12名・議長団2名・一般946名計1886名の参加のもと日本看護連盟総会が東京プリンスホテルにて開催された。坂本看護協会長の挨拶の中に、6年以上かけて特定行為に係る看護師の研修制度の法制化にこぎつけ、6月22日の通常国会で通れば、看護職の業務に関わる大きな改革であり意識して結果を見てほしいと言われた。国会に法案を送っても法制化までは何回も大きな山場があったが、各都道府県看護連盟と3人の看護代表国会議員の結束で乗り切った。1人増えた代表議員の存在の意義を語られた。2025年問題など、「予防・治し・生活を支える医療」を実践するにも、すべて規則・法律・制度でどう定められているかが大事であること。また、「自分達のことは改定していく以外になく、一票でも多く票を獲得し代表議員を増やしたい。次の選挙では、協会会員の半数票を集めたい」と熱く語られた。平成17年度の通常総会でリフォーム連盟が始動し、心機一転したスローガンで現在に至っている。「ベッドサイドから政治を変える！」～確かな政策力、強力な集票力を持つ組織づくり～を目指すことが採択され審議事項が承認された。新旧役員挨拶の後、あべ・高階・石田議員の国政報告会があった。次に、昭和34年10月15日に日本看護連盟が発足して、創立55周年を迎え記念式典が開催された。若手会員からの要望で男女のマスコットキャラクターが誕生した。



記念誌「55年のあゆみ」が発行された。これを読めば、諸先輩方の大変な歴史の歩みが分かり、それに報いるためにも第24回参議院議員選挙に向け国政に看護代表議員を送るべく連盟活動の理解者を増やせるよう取り組みたい。

### 平成26年度佐賀県看護連盟通常総会に参加して

2支部 ひらまつ病院 池田 克士



平成26年6月8日(日)佐賀県看護センターにて佐賀県看護連盟通常総会が開催され、参加者203名、役員12名、委任状998名計1213名で行われました。

佐賀県看護連盟会長の挨拶、佐賀県看護協会会長、看護連の国会議員、県会議員の方、女性局次長の方のご来賓祝辞ご紹介がありました。日本看護連盟創立55周年記念表彰者紹介、佐賀県看護連盟会長表彰と続きました。総会は25年度の経過報告、各支部の活動報告がなされ、審議事項として25年度の決算報告、26年度活動計画、予算、役員選出など原案通り承認されました。

特別講演は参議院議員たかがい恵美子先生による「女性が活躍できる社会」～看護職が豊かに働き続けられるために～と題して講演されました。

その中で、今取り組んである「女性の健康の包括支援の実現に向けて」我が国における女性の自己実現と社会参加のための制度、政策について興味深い話でした。

これからの看護師の地位や法的整備を行っていくには、政治力は欠かせないと思います。政治と密接な連盟の力は必要で、もっと大きな組織力になるよう頑張っていきたいと思います。



## 研修案内

#### 5支部研修会

期日：平成26年7月5日(土) 13:30～15:30

場所：武雄杵島地区医師会館2階会議室

講師：アクティブスペース智  
代表 上妻 智子 先生

実技：「身体が動けば心が動く、  
心が動けば人生豊かになる」  
自分が好きになるヨガ

#### OB支部研修会

期日：平成26年7月19日(土) 11:00～14:00

場所：ホテルマリターレ 創世

講演：「運動・食事と認知症予防」

講師：佐賀大学医学部社会学講座予防医学分野  
助教 西田 祐一郎 先生



佐賀県看護連盟の

# ホームページをご覧ください



- TOP
- 会長あいさつ
- 看護協会と看護連盟
- 佐賀県看護連盟組織図
- 支部紹介
- 研修会案内
- 研修会報告
- 連盟だより
- ウイークリーアンフィニ
- 国政活動報告
- 会員募集
- 問い合わせ
- リンク
- アクセス



## 広報委員からお知らせ！

「ウイークリーアンフィニ」及び「国政活動報告」の記事を出来るだけ早くリアルタイムでアップするようにしています。

又、あべ俊子衆議院議員、高階恵美子参議院議員、石田昌宏参議院議員のバナーをクリックして各議員のホームページをご覧ください。代表議員の活動の様子や国会の動き、看護を取り巻く社会の最新情報が、わかりやすく掲載されています。是非クリックしてご覧ください。

心地よい眠りで、あなたの元気を応援します。

## おかげさまで60年

クリーニングやリフォームなど、羽毛ふとんのアフターサービスは東洋羽毛へおまかせください。



東洋羽毛九州販売(株)長崎営業所

〒856-0046 長崎県大村市木場2-200-1

フリーコール：0120-104-203



施設紹介

医療法人 松籟会 河畔病院

〒847-0021 佐賀県唐津市松南町2-55  
 TEL 0955-77-2611 FAX 0955-77-2722

病院理念：地域に根ざし、慈愛に満ちた医療と福祉を目指す

看護理念：こころやさしい看護

看護部方針：安全・質を重視したケアの提供



居宅介護支援事業所 河畔

指定訪問介護事業所 河畔

唐津市在宅介護支援センター 河畔

まつのみ訪問看護ステーション

認知症疾患医療センター 河畔

唐津地区在宅リハビリテーション  
 広域支援センター



BLS研修会



河畔病院バレーボール

会員募集



看護連盟は看護職の代表を国政の場に送り、看護と国民の健康・福祉のため強力な活動を推進しています。

年会費 8500円 (本部会費5000円・県会費3500円)

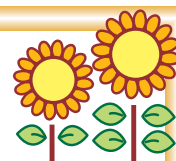
特別会員：看護協会会員の経歴を有し、未就業の方も入会できます。(会費 8500円)

賛助会員：当連盟の主旨に賛同いただける方であれば、一般市民、介護職の方など、どなたでも入会できます。

看護連盟を支えるのはあなたです！

編集後記

参院選も終わって佐賀県看護連盟では、リフォーム連盟以来活躍した支部長さん他県役員が多数交代されます。新旧役員交代のごあいさつを掲載しております。新役員さんと共に頑張りましょう。



広報委員 松永 勇樹 池田 克士 名嶋 すみ江 江頭 恵美子 山口 ヨシノ  
 中村 恵利子 無津呂 さよ